予　算　要　求　資　料

令和５年度当初予算　　　　　　　支出科目 款：衛生費　項：保護予防費　目：感染症予防費

事 業 名 新型コロナウイルス感染症電話相談事業費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）
健康福祉部感染症対策推進課　感染症対策第三係　 電話番号：058-272-1111(内3356)
E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

１ 事 業 費　　　　　　　182,844 千円　（前年度予算額：　　　　188,129 千円）

＜財源内訳＞

区　分	事業費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財　産 収　入	寄附金	その他	県　債	一　般 財　源
前年度	188,129	188,129	0	0	0	0	0	0	0
要求額	182,844	182,844	0	0	0	0	0	0	0
決定額	182,844	182,844	0	0	0	0	0	0	0

２ 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

　新型コロナウイルス感染症に関する相談に対応するため、県庁及び各保健所に電話相談窓口を設置している。

　県民がいつでも相談を受けられる体制を整備する。また、電話相談以外にも新型コロナ対策に関する業務は多岐にわたるため、職員が新型コロナウイルス対応に注力できるよう、電話相談業務を外部委託する。

（２）事業内容

　人材派遣会社と委託契約を結び、電話相談業務に従事する派遣保健師又は派遣看護師を県庁及び各保健所に配置する。

○業務内容 新型コロナウイルス感染症電話相談
○勤務場所 県庁、各保健所
○時間人数 県庁　　：平日　　２名×２４時間
　　　　　　　　　　　土日祝　２４時間（日中帯６名、夜間帯３名）
　　　　　各保健所：平日のみ　２名×８時間
○期間 １２か月

（３）県負担・補助率の考え方
国　１０/１０

（４）類似事業の有無
無し

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	182,844	保健師等派遣委託
合計	182,844	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ
新型コロナウイルス感染症「緊急事態」総合対策

（２）国・他県の状況
○他県の新型コロナ電話相談業務委託状況（令和４年度時点）
愛知県：人材派遣会社と委託契約を結び、県庁及び各保健所に看護師等を配置。２４時間体制（土日祝も対応）で電話相談業務を実施。
三重県：人材派遣会社と委託契約を結び、県庁及び各保健所に２４時間体制（土日祝も対応）で相談対応できるコールセンターを設置。

（３）事業主体及びその妥当性
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応するため、感染症対策に関する業務を維持する必要があることから、電話相談業務を委託することは妥当である。

事　業　評　価　調　書（県単独補助金除く）

□	新 規 要 求 事 業
■	継 続 要 求 事 業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
　新型コロナウイルス電話相談業務を委託することで、県民サービスの充実と保健所体制の強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前（R ）	R3年度実績	R4年度目標	R5年度目標	終期目標（R ）	
						達成率
①						
②						

〇指標を設定することができない場合の理由

　新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 （令和２年１月２７日から、新型コロナウイルス電話相談窓口を設置） 令和２年４月２２日から、電話相談業務を外部委託。 令和２年１１月から、県庁の電話相談対応時間を２４時間に延長。 電話相談の開始により、県民から寄せられる新型コロナウイルスに関する様々な相談に対応した。 また、電話相談業務の委託により、職員が新型コロナ対策に注力でき、保健所体制の強化が図られた。
	指標①　目標：____　実績：____　達成率：____　%
令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。 令和2年度に引き続き、電話相談業務を外部委託。感染拡大時には、相談員を増員して対応することにより、職員が新型コロナ対策に注力でき、保健所体制の強化を図ることができた。
	指標①　目標：____　実績：____　達成率：____　%
令和4年度	令和６年度当初予算にて追加
	指標①　目標：____　実績：____　達成率：____　%

２ 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） ３：増加している ２：横ばい １：減少している ０：ほとんどない	
（評価） ３	新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、感染症対策に関する業務をさらに強化する必要があることから、電話相談業務を委託する必要がある。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ３：期待以上の成果あり ２：期待どおりの成果あり １：期待どおりの成果が得られていない ０：ほとんど成果が得られていない	
（評価） ３	電話相談業務の委託により、県民の不安の解消等を図るとともに、職員が新型コロナ対応に注力する体制が整備された。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ２：上がっている １：横ばい ０：下がっている	
（評価） １	感染拡大の状況により、適切な人数を配置し、相談業務を行っている。

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

電話相談件数が急増した場合、電話相談対応人数の増強が必要な可能性がある。

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

令和５年度を事業終期とする。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	